

事務事業評価資料

施策名	豊かな心を育む教育の推進		所管部局課名	教育委員会事務局義務教育課					
事業名	青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～		担当者電話番号	中学校教育係 078-362-3773					
事業目的	本物の芸術に触れることにより、豊かな心を育成								
事業内容	中学校1年生を対象に、県立芸術文化センターの管弦楽団による鑑賞教室を実施(年間40回)			事業開始年度	平成18年度				
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 130,538千円		(0千円) 130,538千円		(0千円) 130,538千円			
	人件費	891千円	従事人員 0.1人	847千円	従事人員 0.1人	836千円 従事人員 0.1人			
	総コスト(+))	131,429千円	従事人員 0.1人	131,385千円	従事人員 0.1人	131,374千円 従事人員 0.1人			
事業の目標	全公立中学校1年生の参加			【目標設定理由】 豊かな情操を養うため、全公立中学校で実施					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	実施校数	全校実施	毎年度	354校 (371千円)	350校 (375千円)	352校 (373千円)	100%	99%	100%
評価結果	必要性	・阪神・淡路大震災の文化復興のシンボルとして県立芸術文化センターがオープンし、日頃から芸術文化に親しむ機会の少ない中学生に、本物の芸術文化に親しむ機会をつくり、感動する心、豊かな心を育成する必要がある。							
	有効性	・20年度は一部の公立中学校で未実施であったが、21年度は、全公立中学校での実施を推進する。 ・94%の生徒が「参加してよかった」、77%の生徒が「今後も生演奏を聴いてみたい」と回答するなど、生徒の興味関心を大いに喚起している。 ・豊かな情操や感性を身につけた人材育成につながっている。							
	効率性	・公演については、来場者数(中学校1年生生徒数)の関係から、40公演を要するが、1日2公演として、日程面の効率化を図っている。 ・1公演での定員(座席数)が埋まるように、各学校の日程を調整し、効率化を図っている。 ・なお、20年度に1校あたりの実施経費の増加については、公演に係る人件費や会場費等は実施校数に関わらず生じるため、実施校数が減少したことにより増加したものである。							
	民間・市町との役割分担	・公演に係る人件費や会場費等の事業費を県が負担し、その他の経費については、設置者である市町に一任している。							
	受益と負担の適正化	・上記のとおり、その他の経費については、設置者である市町に一任している。							
実施方針	方向性	新規 廃止	拡充 縮小	継続 凍結(休止)	実施手法の見直し 延長 終期設定				
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討の上実施								